

『9 月の主な動き』

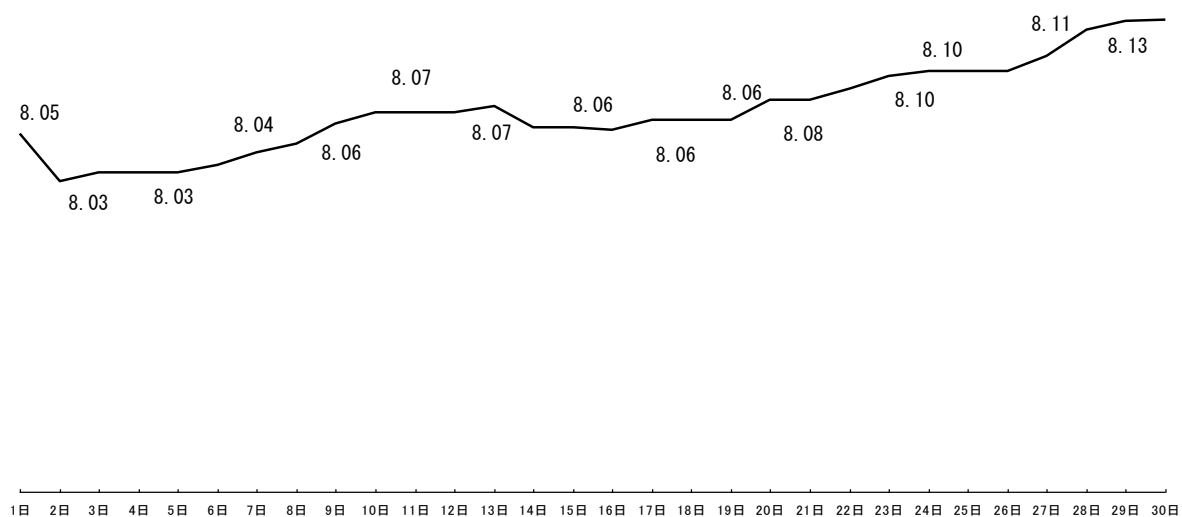
- 9 月、対米ドル・ケツアル為替はドル高傾向が顕著となった。
- 9 月、消費者物価指数は、前年同期比で 3.76%上昇となり年率では 9 ヶ月連続して上昇した。
- 9 月、外国からの送金額は、前月に比べ下落したものの、7 ヶ月連続で前年同月額を上回った。
- 2 日、政府は 2011 年度国家予算案を国会に提出した。
- 7 日、国会は、熱帯暴風雨アガサ及びパカヤ火山噴火による災害の復興事業向け 2010 年度補正予算案を国家緊急手続きにより承認した。
- 1 日、中銀は、2010 年の経済成長率予測をこれまでの 1.7%—2.5%のプラス成長から 2.0%—2.8%のプラス成長に上方修正した。

1. 主な経済指標

（1） 為替レート（中銀）

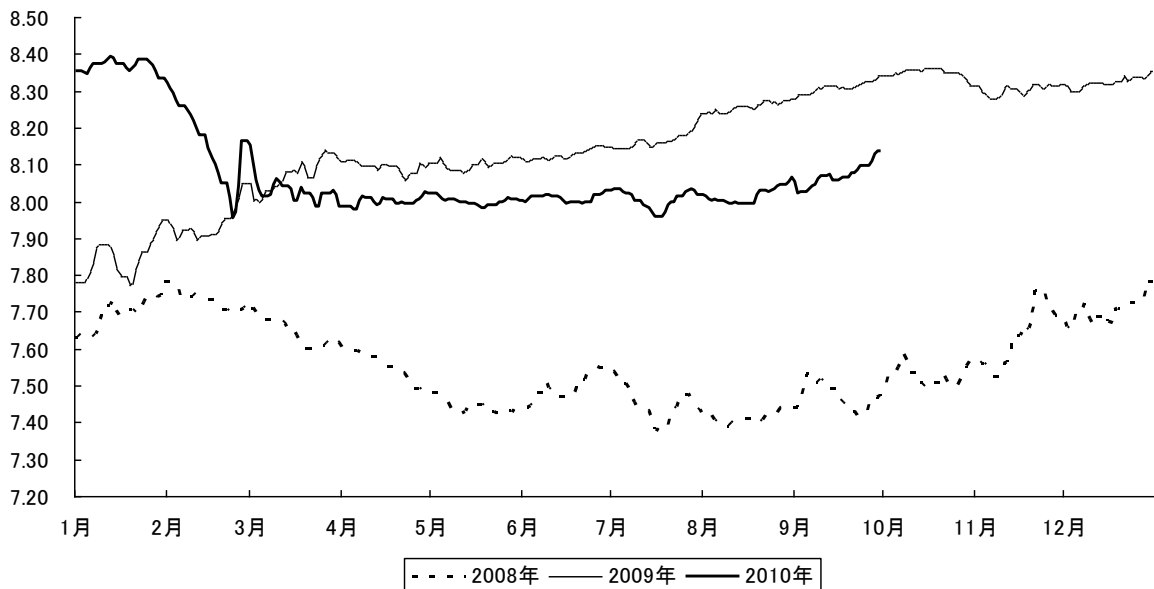
9 月、ケツアルの対米ドル為替相場はドル高傾向が顕著となった。9 月 30 日時点の為替レートは同月初頭に比べ 0.08 ケツアル安ドル高の 1 ドル=8.135 ケツアルであった。

ケツアル対ドル相場の推移：2010 年 9 月



（出典：グアテマラ中央銀行）

ケツアル対ドル相場の推移：2008年—2010年

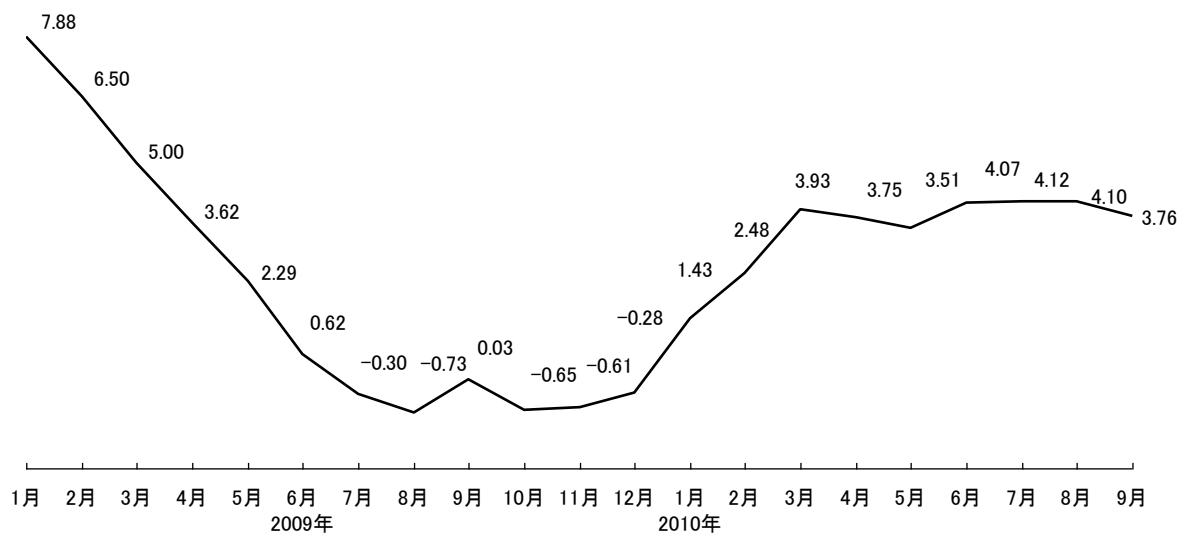


(出典：グアテマラ中央銀行)

(2) 消費者物価指数(中銀及び国立統計院)

9月、消費者物価指数は前月比で0.29%の上昇となった。また、前年同月比では3.76%の上昇となり、年率では上昇は2010年1月以降9ヶ月連続して上昇した。

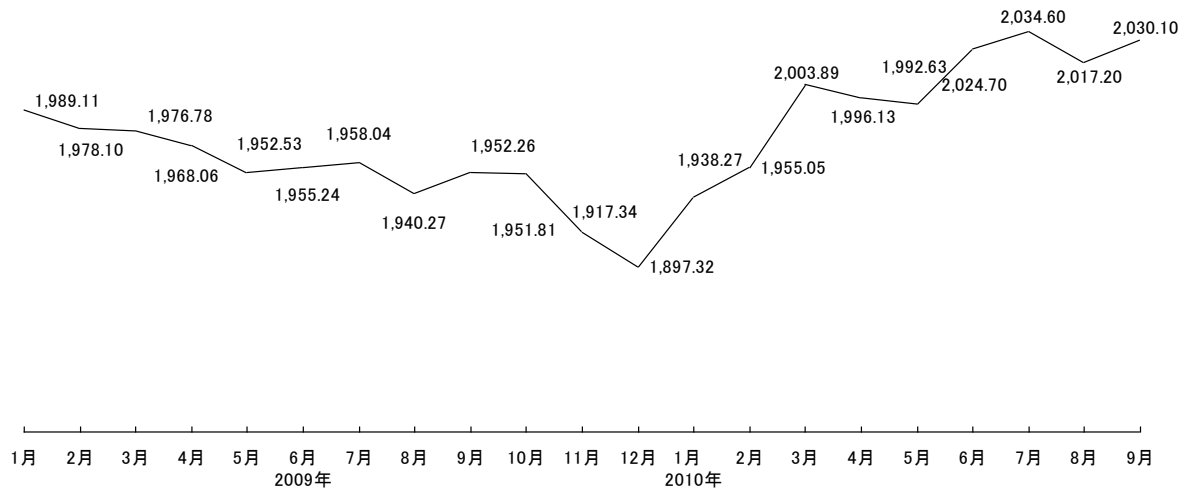
消費者物価変動率(対前年同月比：%)：2009-2010年



(出典：グアテマラ中央銀行及び国立統計院)

基礎的食料品バスケット（Canasta Básica de Alimentos: 1世帯5.38人分のカロリーとタンパク質の摂取を満たす最低限の食料26品目）価格は、前月比12.9ケツアル増の2,030.1ケツアルとなった。

基礎的食糧品バスケット価格：2009-2010年



(出典：国立統計院)

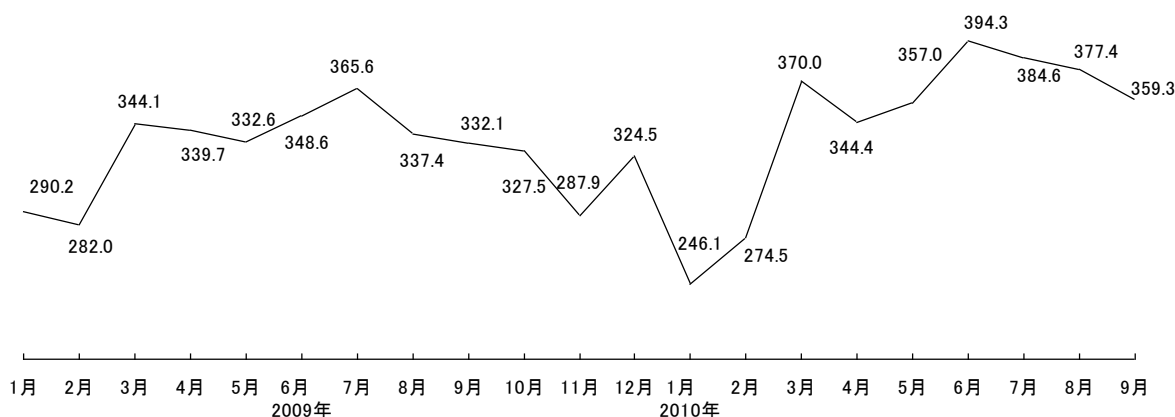
また、基礎的生活バスケット（Canasta Básica Vital: 基礎的食料品バスケットに、生活に不可欠な財と最低限のサービスを加えたもの）の価格も、前月比23.54ケツアル増の3,704.56ケツアル/月となった。

(3) 外国からの送金（中銀）

9月、外国からの送金額は前月に比べ下落したものの、前年同月比8.2%増の3億5,931万ドルとなり、7ヶ月連続で前年同月額を上回った。

外国からの送金額：2009-2010年

（単位：百万米ドル）



（出典：グアテマラ中央銀行）

2. 国内経済トピックス

(1) 2011年度国家予算案の国会提出

2日、政府は2011年度国家予算案を国会に提出した。同予算案は、2010年度予算を3.2%上回る529億5,960万ケツアルとなった。2011年度国家予算案においては、社会連帯審議会プログラム関連事業に対し多くの予算が充てられており、教育省向け予算額は2010年度予算比12.5%増の91億6,550万ケツアル、また、農牧食糧省向け予算額は本年度予算35.7%増の10億ケツアルとなった。一方、通信インフラ住宅省向け予算額は、2010年度予算比28.8%減、また、厚生省向け予算は同5.8%減となった。なお、同予算案では、2011年の税収額は380億1,800万ケツアル、税収以外の歳入が19億5,000万ケツアルと見込まれている。

(2) 2010年度国会補正予算案の承認

7日、国会は、熱帯暴風雨アガサ及びパカヤ火山噴火による災害の復興事業向け2010年度補正予算案（13億ケツアル）を国家緊急手続きにより承認（政令第30-2010号）した。同補正予算は、世銀による融資、所得税徴税額の増額（5億ケツアル）及び米州開発銀行（BID）による平和基金（FONAPAZ）を原資としている。政府による同補正予算の不正使用防止のため、右政令には同予算使用に関する様々な条件が設けられており、同予算を利用した医薬品等の調達には世界保健機関（WHO）、パンアメリカン保健機構（PAHO）、または国連人

口基金（UNFPA）を通じ手続きを行う事が規定されている。

（３）２０１０年経済成長率予測の上方修正。

１日、中銀は、２０１０年の経済成長率予測をこれまでの１.７％—２.５％のプラス成長から２.０％—２.８％のプラス成長に上方修正した。デ・ボニージャ中銀総裁は、「経済成長率予測の上方修正を決定した要因としては、本年上半期の貿易総額、外国からの送金額、徴税額等が予想以上に伸びたことが挙げられる。また、熱帯暴風雨アガサ等自然災害が当国経済に与える影響が心配されたものの、農作物への影響は予想を下回ったことも要因の１つである。一方で、当国インフラ事情は、依然と続く雨期の影響により悪化している。また、米国経済の停滞及び豪雨による今後の農作物への被害の可能性等、当国経済を取り巻く環境は依然として不安定である。」旨述べた。

（４）世界経済フォーラム２０１０年国際競争力指数

９日、世界経済フォーラムは国際競争力指数において当国の順位が１３９カ国中７８位（２００９年は同８０位）であった旨発表した。また、同フォーラム報告書によると、同競争力指数に含まれる各項目毎の主な指数の当国順位は以下の通りであった。

（イ）国内企業が治安・防犯対策に費やす出費	１３９カ国中１３９位（最下位）
（ロ）組織犯罪対策向け出費に関する指数	同１３８位
（ハ）警察に対する信頼度	同１３３位
（ニ）国民の政治家に対する信頼度	同１３１位
（ホ）政府による予算の無駄遣い	同１２９位
（ヘ）公金横領	同１２８位

３．対外経済トピックス

中米４カ国・カナダ間自由貿易協定交渉の難航

２日付エル・ペリオディコ紙は、交渉中であるコスタリカを除く中米４カ国とカナダの自由貿易協定交渉が、労働基準関連の議題において難航している旨報じた。カナダ側は各国が労働基準を違反した場合、中米側が米国と結んだ自由貿易協定（DR—CAFTA）と同様１,５００万ドルの罰金を主張しているものの、中米側は反発している。次回交渉は、本年１１月８日から１１日までエルサルバドルにおいて開催予定となっている。

（了）